

## 第5回 寺子屋フォーラム

暑い🌸熱中症に注意！

2023年6月17日 20:30～

8月のある日， 13:00頃に1本の電話

散歩から帰ったら呼吸が荒く，ぐったりしているが，診察してもらった方がいいか？



**あなたはこの症例に対してどんなことを考え，どのように伝えますか？**

# ディスカッションタイム

年齢、犬種、  
10才、ラブ

食事の時間 - 8:00AM.

体温 あがり

意識の有無 - ある?

可視粘膜の色 ← 白っぽい  
赤っぽい、ヨグシも。

呼吸状態

呼吸速!! 10分1回!!

熱中症?

⇒ 獣医師へ云え子

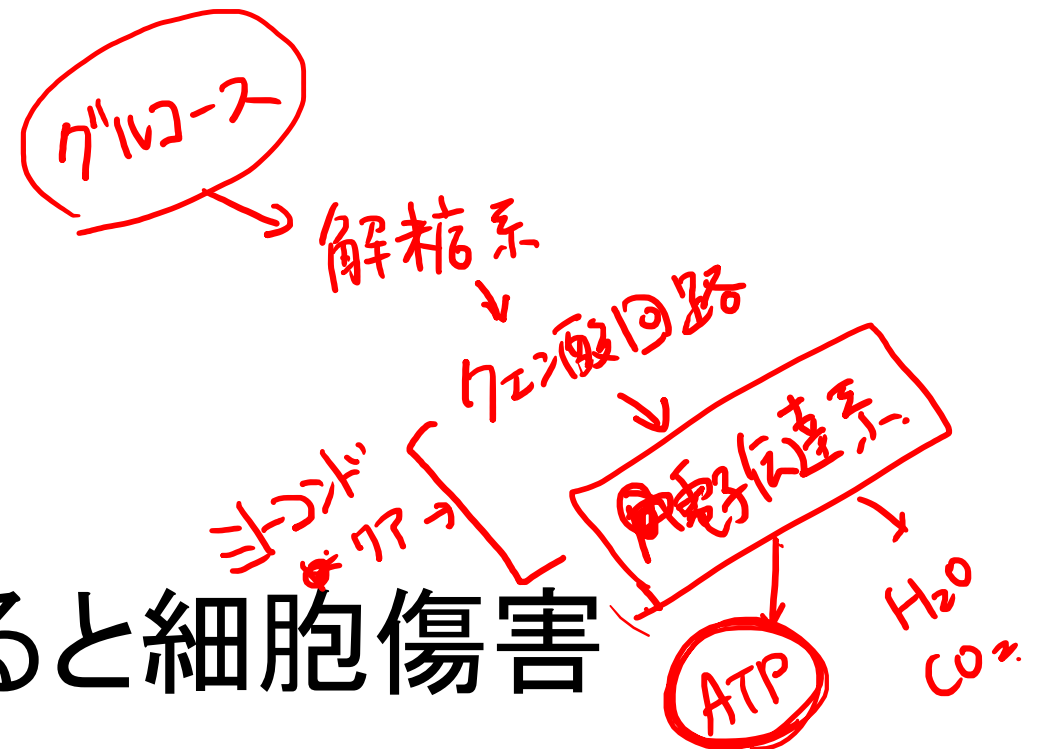
冷やしたら来る!!

# 熱中症はこんな病態

## 高温環境による身体の障害

気温や湿度が極端に高い場合、パンティングや伝導あるいは対流によって放散できる熱の限界を超え、中枢神経の機能異常、循環不全、酵素系や細胞機能の障害を引き起こす病態

# 熱中症はこんな病態



犬では,

- ・ **41°C**を超える高体温になると細胞傷害
- ・ **41.5°C**を超えると細胞内のミトコンドリアにおけるエネルギー産生機構に障害
- ・ **42~43°C**になるとタンパク質変性

# 熱中症はこんな病態

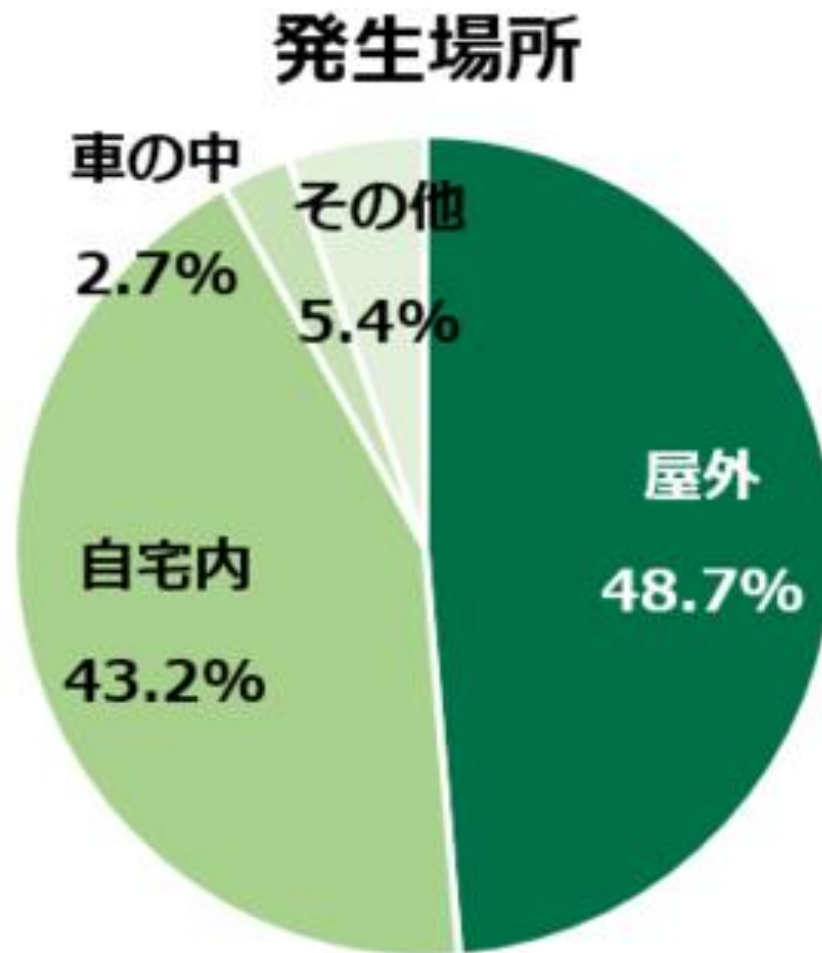
犬の汗  
↓  
エクリン  
肉球  
汗  
↓  
パンティング  
↓  
水蒸気 → 熱が逃げる  
体温 ↓

発生要因：環境への順応不全，飲水制限，  
高温高湿な環境など

※トリミングのドライヤーの風でも発生することがある

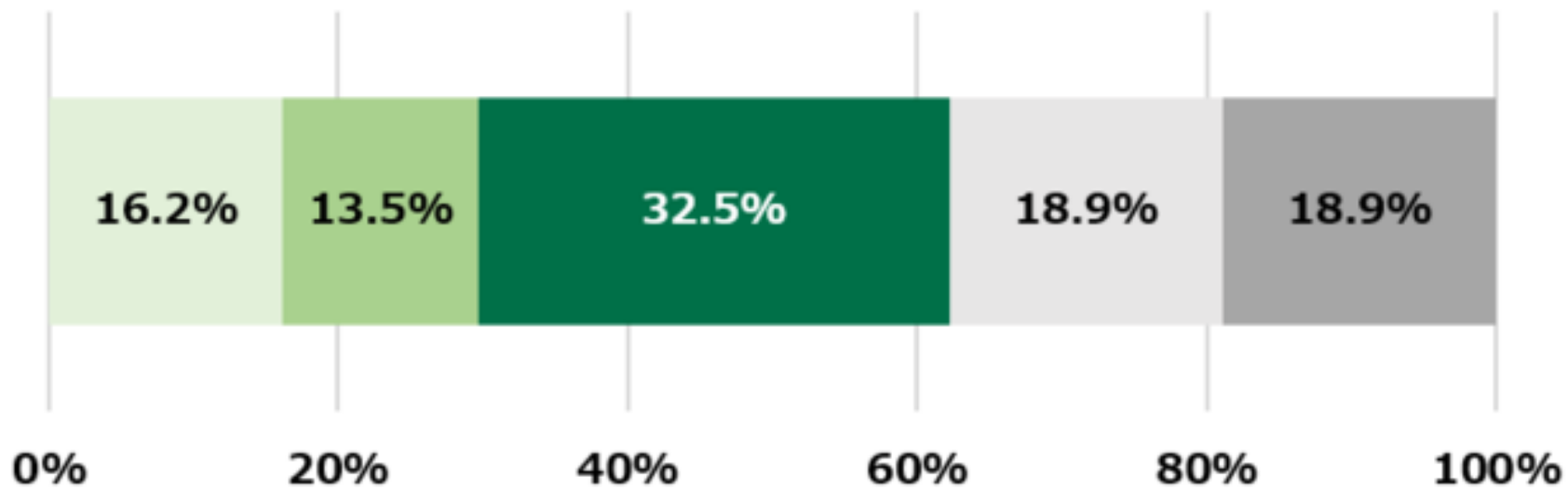
内因性：短頭種，上気道疾患，心血管系疾患，  
肥満，高齢，被毛の性質など

# 2021年の調査では…



# 2021年の調査では…

## 熱中症発生の時間帯



■ 朝 5時～9時

■ 昼前 9時～12時

■ 昼過ぎ 12時～15時

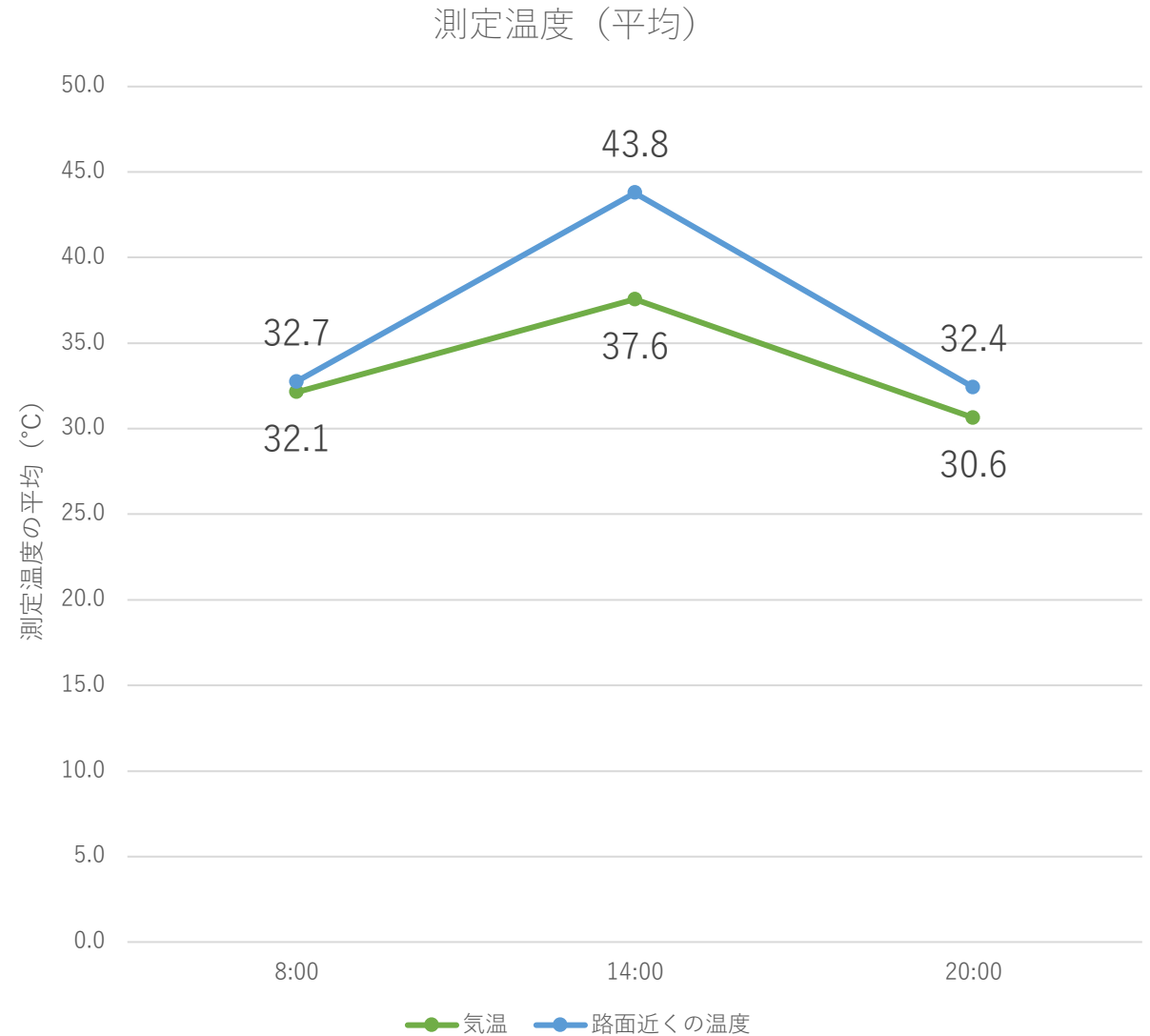
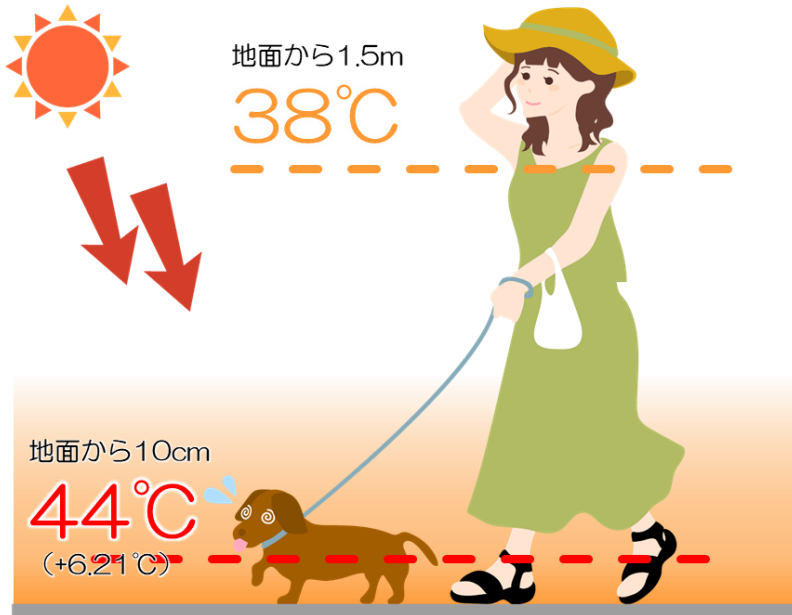
■ 夕方 15時～18時

■ 夜 18時～5時



# 自分でも調べてみた！

	8:00	14:00	20:00
気温 (°C)	32.1	37.6	30.6
路面付近気温 (°C)	32.7	43.8	32.4
気温差 (°C)	0.56	6.23	1.37
気温差 (最大値・°C)	3.2	9.8	2.5
気温差 (最小値・°C)	0.0	3.6	0.0



注意

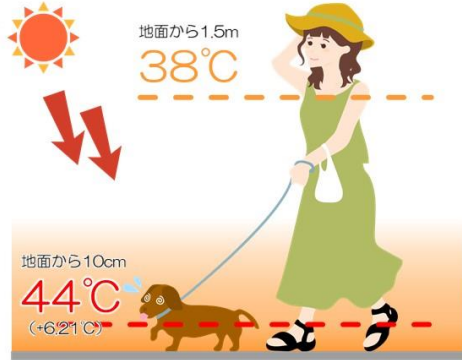
Stop熱中症プロジェクト

## 散歩中のワンちゃんは 実は高温にさらされています

今年も暑い夏がやってきました。連日「熱中症警戒アラート」が発出されています。ワンちゃんの熱中症は命に関わる危険な病態です。熱中症には十分にご注意ください！！

当院では、「ワンちゃんの熱中症をゼロにしたい」そんな思いから『Stop熱中症プロジェクト』として診察に来られた飼い主様に、改めて熱中症に気をつけていただくようお声がけしています。

現在、プロジェクトの一環として倉敷市内における気温とアスファルトからの照り返しの影響を受けた気温の差を測定しています。その結果をまとめましたのでお知らせします。



### 調査の方法

- ・晴れた日に、8:00、14:00、20:00に測定
- ・気温（地面から1.5m）と路面付近温度（地面から10cm）
- ・倉敷市某所（周りに遮るものがない日なた・アスファルト）

### 調査結果

	8:00	14:00	20:00
気温(平均) [°C]	32.1	37.6	30.6
路面付近温度(平均) [°C]	32.8	43.8	32.4
温度差の平均 [°C]	0.60	6.21	1.37
温度差の最大値 [°C]	3.2	9.8	2.5

### 調査結果から伝えたいこと

14時の時点で、私たちヒトが感じる気温の平均は37.6°C、ワンちゃん達が感じる気温の平均は43.8°Cでした。ワンちゃん達は私たちが感じる気温より、約6°C高い気温にさらされていることとなります。日によっては、約10°C近く気温より高い日もありました。

また、日が落ちてもしばらくは路面近くの温度は気温より高いことも分かりました。

以上のことから気温が高い日の散歩がいかに危険で、熱中症のリスクを高めているか分かっていただけましたでしょうか。

また、気温も危険なのですが、アスファルトの路面は約60°Cの高温になるとも言われています。裸足のワンちゃん達は火傷してしまいます。散歩前に手の甲で地面の温度を測ってみてください。

**少しの注意で熱中症は防ぐことができます！もし散歩に行くなら熱中症のリスクを考えて朝の日が出る前に行くことをおすすめします！**

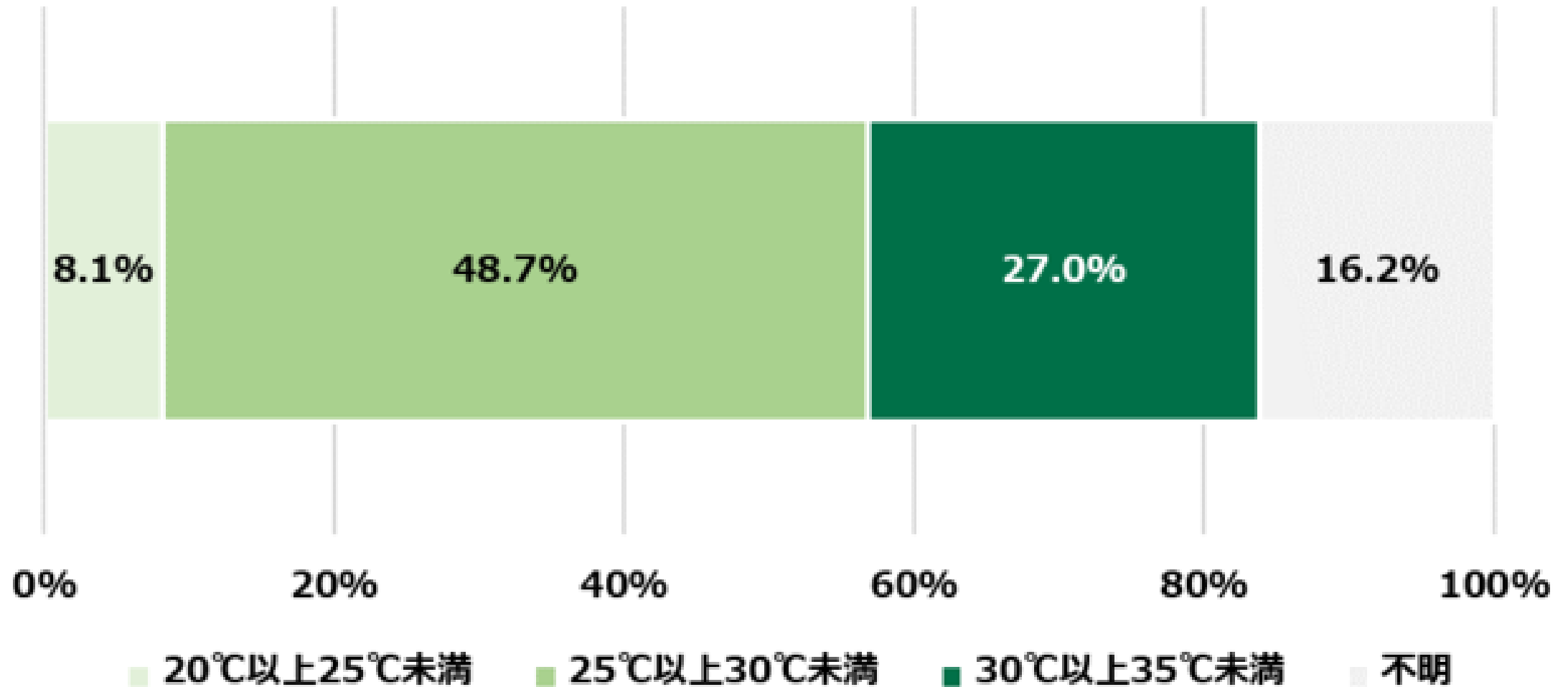
文責：山下（チボリ動物医療センター）

# この結果は当院の待合室 に掲示しています。



# ご希望の方はご連絡ください

## 熱中症発生時の気温



# 熱中症を疑う症例から連絡があったら



## とにかく体温を下げることを考える！！

- 氷枕/氷嚢
- 水をかける
- 可能なら飲水（嘔吐などがあれば×）
- 移動中もクーラーや風を当てる

★目標体温：39.4℃として30～60分かけて実施

# 到着するまでにすること



室温を下げておく， 冷却処置の準備  
ルート確保の準備， 酸素化の準備

緊急時に備えて気管挿管， 緊急薬の準備

# 病院に到着したら



## 一次救命措置（BLS）の必要性チェック

冷却処置

酸素化

輸液療法

★血液検査も実施する

# 冷却処置（推奨）

常温の水のスプレーやタオルをかける

保冷剤をタオルでくるんでの太い血管に当てる

禁) 冷水や保冷剤を直接当てる

→末梢血管が収縮し，熱放散の効率が低下

禁) アルコールスプレーで冷却

→すぐに蒸発するため，体温の低下効果は  
そこまで高くない（引火性あり）

# まとめ

- 熱中症は起こさないことが最も重要！！
- 発生時は，適正体温まで迅速に低下させる
- 緊急時の対応を訓練しておく
- 熱中症は，全身の臓器への障害が起こるため，注意深い観察/看護が重要（急変の可能性）

★ 今年には熱中症症例ゼロを目指しましょう！